

徳安 達成議員

地場産業の活性化について

問 今後の商業振興策はどのように考えているか。

答 商品券発行補助や中小企業を応援する補助のほか、今後、行政として予算化が必要なもの、人的支援が必要なもの、商工会が主体となるものなど、しっかりと連携、協力し取り組みたい。

問 なんでも糸島プロジェクトとはどのような事業か。

答 市民には市内で買えるものは可能な限り市内で買ってもらい、市外の人には糸島に来て、買って、食べてもらうことで、お金を糸島市内で循環させ、地域経済の活性化につなげる取り組みである。

問 商工業の振興策となんでも糸島プロジェクトはどのような関係になるのか。

答 なんでも糸島プロジェクトは、経済の地域内循環と市外の経済活動の取り込みを目指すものであり、その範囲は農林水産、観光にも及ぶ。このプロジェクトの商工分野の柱となるものが、商工業振興策である。

観光客の招致について

問 今後、どのような観光振興策を考

えているか。

答 糸島市観光振興基本計画に沿って具体的に進めていくこととしており、現在その素案の審議、検討を糸島市観光審議会において行っている。

問 観光客にリピーターとなってもらうには、行政としてどのような工夫が必要だと考えるか。

答 それぞれの観光資源に季節や同行者などの違いに応じたバリエーションをつくり、事業者のみならず市民全体が観光客に対して、おもてなしの心を持つことが大切である。

問 外国人観光客を誘致する必要性をどう考えているか、また、そのためにどのような取り組みが必要か。

答 外国人観光客を糸島市に呼び込むことの必要性は十分認識している。今後、飲食業などにおいての接客マナーの研修、観光案内サインやパンフレットなどへの外国語表記、旅行関連業者への積極的なPRが必要と考えている。



伊藤 千代子議員

市民プール、スポーツ施設の建設について

問 県下28市でプールがないのは、どこか。

答 福岡都市圏9市の中でプールがないのは、筑紫野市、大野城市、古賀市、福津市、糸島市の5市である。

問 今後、市民プール、運動公園などの整備計画はあるのか。

答 今後の課題と認識している。糸島市独自では早急に市民プール建設や総合的な体育施設の整備は難しいことから、前原インターチェンジ南地区の運動公園の整備について福岡県に要望している。

自然と環境を守る水源の確保について

問 残土処分場について、土砂災害や環境汚染などの被害が起きた場合は誰が責任を取るのか。

答 開発に係る責任者は当然、申請者および業者である。何らかの問題が起きた場合は、林地開発の許可権者の県から行政指導が行われることになっている。

問 地域の水源を守るために、水源の保全条例などを定めるべきではないか。

答 林地開発を制限する手段として、土地所有者の了解を得ながら公道沿線の山林を保安林に指定するのが最も有効であると考えてるので、条

例化は考えていない。

ごみの分別と資源化による税金の節約と、クリーンセンターについて

問 ごみの減量化・資源化に力を入れていただきたい。

答 ごみの減量、リサイクルの推進は、資源循環型社会の構築を進めていく上で大変重要な課題である。そのため、段ボールコンポストの普及や資源の回収補助を行っている。今後は、クリーンセンターにごみを持ち込まない資源回収システムの構築を進めていきたい。

問 リサイクル事業の委託料を減らすため、缶・瓶・ペットボトルの3分別を実施する方向で検討できないか。

答 ごみの分別は、糸島地区廃棄物審議会が収集運搬から最終処分までの経費や資源化などが検討されずでに市民にも定着している。そのため、資源ごみの分別数の増加は考えていない。

問 高額な委託料のかかるクリーンセンターの業務委託の契約方法を見直すべきではないか。

答 クリーンセンター全体の維持管理経費を精査する必要があることから、同様の施設を持つ自治体の状況を把握し、維持管理経費や地場企業の活用、市内雇用増など、契約方法も含めて調査研究を行い、経費の削減を図りたい。

吉丸 克彦議員

糸島市発足記念事業、市の花、市の木の指定、市民憲章の制定について

問 市の木、花、鳥など、また、市民憲章の制定についてどう考えているのか。

答 市民に親しみと誇りを持ってもらうため、みなさんの声を聞いて定めていくことが大切だと思っている。公募を基本に、指定または制定をする。

問 市の木や花などが指定、市民憲章が制定されたとしたら、どのように周知し、活用していくのか。

答 市のイベント、広報紙、ホームページなどで紹介するほか、報道機関にも周知をお願いし、糸島市を広くPRするためのアイテムとして活用する予定である。

観光について

問 糸島市観光協会に補助金を交付するのはどういう理由からか。

答 糸島市観光協会は、観光により地域産業、経済発展などに寄与することを目的として事業者により組織されており、市としては、パートナーとして観光振興を図っていく関係にあり、補助金を交付している。

問 糸島市観光協会のホームページ開設費用として250万円が市の補助金として計画されているが、どのようなものになるのか。

答 行政では情報発信が難しいグルメや工房、ギャラリーなどの店の情報を掲載して、糸島に行ってみたい、食べたいといった気持ちになるようなホームページにする予定である。

問 行政と観光協会の連携についてどのように考えているのか。

答 豊富に存在する糸島の魅力をいかにトータルコーディネートするかが課題であり、その観点から行政と観光協会とのさらなる連携が必要と考える。

問 ボランティアガイドの育成についてどう考えているか。

答 ボランティアガイドが果たす役割の重要性は十分認識している。現在、観光振興基本計画の案を審議中であり、計画策定後に具体的な取り組みを検討していきたい。

問 観光審議会の役割は何か。また、そこで出た答申は、どのように展開していくのか。

答 市長の諮問に応じて観光振興について調査および審議し答申する。観光振興基本計画策定後は、計画に基づく具体的なアクションプランを立てて実施していく。

問 定期観光バスの運行の必要性についてどう考えるか。

答 今後、車を持たない、運転ができない方々に対し、2次交通アクセスの整備も必要であり、定期観光バスの運行可能性について調査研究を行いたい。

波多江 一正議員

白糸地獄林地開発の件

問 市長の白糸地獄林地開発反対の姿勢に対して、住民としてどのような支援の方法があるか。

答 市民並びに議会の方々のバックアップがぜひとも必要である。今後内部で検討し議会と相談させていただく。

地域審議会への諮問および答申について

問 二丈、志摩庁舎の活用について、地域審議会へ情報提供が不足しているのではないか。

答 市としては、背景、事情などを十分に踏まえ、地域審議会を開催した。市でまとめた庁舎の活用案を説明し、委員の希望によって庁舎見学もした上で、審議いただいている。

二丈、志摩図書館の概要について

問 図書館開館に向けての準備体制、および開館後の職員体制について伺う。

答 開館準備の職員体制としては、年度内は館長の指示のもと、2館分で現在の職員3名と新たに嘱託の職員2名で対応することとしている。開館後の体制については、人事担当

者と今後協議を進めていきたい。

問 新図書館に置く本のほとんどが、出版後6年以上経っているようだが、それで市民が満足する図書館ができるのか。

答 古くて、本としての価値のないものを並べるとは言っていない。寄贈いただいた本の中にも非常に貴重な本もたくさんあり、そういうものは有効に活用したいと考えている。



糸島市の図書館の基本構想を検討する委員会の設置について

問 市長の任期中に暫定でない図書館への道筋をつけておくべきではないのか。

答 なるべく任期中に5年後の見通しを確立できるように、これから一緒に協議検討をさせていただきたい。